

我が社の得意技 ⑨
天然素材と独自技術が生み出すこだわりの逸品
株式会社河上工芸所 (今在家)

毎日の生活の必需品「タオル」。今在家に独自の技術を駆使し、国内外へはばたいている企業がある。天然素材のやさしい肌触りにこだわったオーガニックコットンタオルの製造を得意とする(株)河上工芸所である。



▲オーガニックコットン草木染
タオルハンカチ

同社は昭和48年に設立され、創業当初からタオルの仕上げ加工を主に行ってきた。タオルを製造する際、さまざまな不純物が付着しているため、精練により余分なものを除去し、吸水性や通気性を高める必要がある。長年精練に携わってきた同社は、単なる洗い処理ではなく、仕上がりにこだわったきめ細かな処理を行っている。そのこだわりが水である。タオル作りに適した当市の良質な天然水に、石油系の精練剤など化学薬品を一切使用しない酵素と天然石鹼を用いて洗うことで、繊維が傷つけられることなく、綿本来の柔らかさと風合いを兼ね備えた商品が完成する。また、

繊維が傷つけられていないため、家庭で繰り返し洗濯しても肌触りの良さが持続する。長年の経験により蓄積されたノウハウを独自の技術として展開していた同社だが、その技術力をさらに向上させるの機会が訪れる。明治製菓(株)との出会いである。既存の精練工程の中に、明治製菓(株)との共同開発により誕生した、食品にも使用される独自の酵素を加えることで、抜群の吸水性と通気性、肌触りを兼ね備えた精練処理を実現した。

■伝統技術と最新技術の融合
精練以外にも同社が得意としている技術がある。自然な

着色で日本ならではの風合いを醸し出す天然草木染である。多くのタオル染料が石油系の着色料を使用しているが、同社では、厳選された天然素材と磨き上げてきた技術を融合した商品づくりを行っている。天然草木染では、思ったとおりの色合いを安定的に出すことが困難だが、これまでに培ってきた熟練の技によるわずかな調整で、それを可能としている。今では、自社で「染屋(SOMEYA)」ブランドを立ち上げ、オーガニックコットンタオルのほか、日本手拭いやベビー用品といった商品を展開するなど、新たな取り組みにチャレンジしている。そして、その品質は日本アトピー協会や北里研究所病院からも評価されており、日本アトピー協会の推奨品として認められるまでになった。



▲天然草木染の
日本手拭い

■国内外で認められた品質
同社に対する評価は国内のみならず海外でも高く、平成

20年にフランスで開催された世界最高峰のインテリア・デザインの見本市「メゾン・エ・オブジェ」において、オーガニックの草木染めと新たな加工技術を取り入れた手法が高く評価され、その後ヨーロッパやアメリカでも商品が取り扱われてきた。

昨年には、経済産業省から「ザ・ワンダー500」(日本が誇るべき優れた地方産品)に認定されるなど、日本代表として今後の活躍が期待されている。



▲ザ・ワンダー500認定書

現在も、加工技術や染色技術の向上のため、日々研究を積み重ね、西条から世界へ、タオルを通じて日本の文化と技術を発信し続けている。

サイクスでは、地域産業が取り組む商品開発や海外展開など、さまざまな活動に対して積極的な支援に取り組んでいます。お気軽にご相談ください。

サイクスからの事業案内
のぞいてみませんか
うちぬきサロン

サイクスでは、毎月第2月曜日に異業種交流会「うちぬきサロン」を開催しています。地域産業振興のエネルギーを生み出す場所として、毎回約100人の産業人が参加。業種や分野は不問。皆様のお越しをお待ちしています。

■2月の開催予定

○日時 2月8日(月)
18時~20時30分

○場所 サイクス1階
交流サロン

○参加費 2000円

※G・S・I・C・S会員企業などは1000円

■申込先・問合せ

産業情報支援センター
TEL 0897-53-10010



▲うちぬきサロンの様子